

# 清政

せい せい

神道政治連盟京都府本部会報  
平成24年7月9日発行（年2回発行）

御製  
津波来し  
時の岸辺は如何なりしと  
見下ろす海は  
青く静まる



被災地に心をよせて  
今というとき  
活動報告  
事務局からの活動報告  
せいせい書評

# 52



## 「被災地に心をよせて」



神道政治連盟京都府本部  
本部長 林 秀俊

寛仁親王殿下には、去る六月六日薨去遊ばされましたこと、謹んで哀悼の誠を捧げます。

さて、昨年東日本を突如襲った未曾有の大震災から二年四カ月が過ぎようとしている。未だ被災地では復興が進んでいないのが現状であり、政府の対応に不信感を抱かずにはいられない。

陛下はご承知の通り震災後直ちに被災住民をはじめ日本国民に向け御言葉を発せられ「国民が、被災地に長く心を寄せ、被災者と共にそれぞれの地域の復興の道のりを見守り続けることを心より願っている」とのべられた。

神政連では本社本庁復興対策会議に参画し被災地支援に精力的に取り組んでいるが、会員諸兄にとって「目に見える活動」とまではご認識頂けないのが現状であろう。組織の性格上被災地に対し政治的支援を行う結果として、二次的に物的支援に繋がる行動が神政連にかせられた支援活動ではないかと思っている。

陛下におかれては御体調を崩される中、被災地へ度重ね御見舞いや御視察へと足を運ばれる数は延べ五十回を超え、震災に関する御動静は六十回を超えておられる。被災地に心をお寄せいただく大御心は被災者にとつては何事にも代えがたき励み、誠にあり難き極みであったと思う。

本年三月十日には神政連国会議員懇談会（安倍晋三会長）主催の下、復興未だ進まない福島県相馬市において、東日本大震災物故者慰霊祭が斎行された。安倍会長を始め所属国会議員、更には地方議連の有志他四百名が参列し御霊の安鎮を祈念した。

今という  
17  
時  
Reflect  
the times

# 国家観と生活観と

参議院議員 比例代表(全国区)選出

神道政治連盟国会議員懇談会

副幹事長

ありむら 治子

私の政治家としての原点は、滋賀県議だった父が浪人していた高校生の頃にさかのぼります。父が落選してからというもの、「有村先生」と父を慕って下さった方々の姿を見かけなくなり、「有村っ!」と呼び捨てにし、あからさまに見下す態度を取る方が少なからず現れました。

その一方で、暮らしの術をなくした我が家の前に、「畑で取れました。ど

うぞ」との走り書きとともに白菜や大根を置いてくださる篤志家もいらつしました。父が御礼をしなくても済むように、取えて名前を書かずに届けて下さった野菜を食べて、私は育てて頂きました。「肩書き」を持ってないことの悲哀と、それを冷徹に評価する社会の現実をまざまざと見せつけられるとともに、人の情けと「格」を意識するようになった経験でした。

父は仕事を失ってから、きつと深く眠れなかったのでしょうか。なぜか、早朝からNHKラジオで英会話講座を聞いていました。浪人中の四年間、用事も来客もないのに、父は毎日スーツをまとい、夜になると風呂で、その日のYシャツの襟の汚れをブラシで洗い続けました。その後ろ姿は、父の無言の悔しさと明日にかける執念を感じさせ、私は誇りに思っていました。

我が京都からも多賀久雄京都府議会神道議連会長、桜井泰広京都府市神道議連幹事長にご参列いただいた。

慰霊祭後は、地元代表者から陳情を聞く連絡会があり、被災により伝統文化が喪失しかねない状況下、文

化財の保護プロジェクトの立ち上げ、鉄道に代わるバス路線の代替策等について安倍会長に直接訴えがあり、早速政府において取り組みが始まったとの朗報が届いた。これらの成果は神政連のみならず神社本庁復興対策会議との緻密な連携の結果で

あると思っている。

陛下、御皇室は常に国民に心をお寄せ頂き、亡き寛仁親王殿下におかれては障害者福祉にお取組み頂き、皇室をいたたく我が国柄を今こそ思い返し、大御心のまにまに末永く被災地に心をよせていきたい。

## Reflect the times

毎晩、風呂場に響くシャカシャカという音が、色々うまくいかず、心が折れてしまいそうになる家族の暮らしに、一本の軸を通していただきたいと思います。

議会人として、天皇皇后両陛下に陪席させて頂く公務や、各国のトップリーダーと朝食を囲んだり、世界市場で勝負する企業経営者との意見交換を重ねたりする一方で、路上生活する人々、DV(家庭内暴力)や虐待の被害者を匿うシェルターを訪ねることもありました。どのような立場にある方も、他人には知られたくない体験や悲しみ、難題を背負いながら、それぞれが懸命に生を繋ぐ努力をされていらつしやいます。それらの現実を目にする度に、おのずから頭が下がります。

これらの得難い経験は、私の「しっかりとした国家観と、地に足のついた生活観を併せ持つて課題解決を図る」という信念を確固たるものにしていきます。「何を言うか」はもちろん大事ですが、「誰が言うか」はそれ以上に重要な要素です。日々の言動行動に信用のない人が崇高なことを説いたところで、リスクを負ってまで行

動を共にする人は少ないのが現実です。役職や立場を超えて、常に言行一致の高い信用力を保っている人が影響力を広げていると思うのです。

ゆえに、私は国家の未来に仕える誇りを胸に、なるべく質素な生活を心がけています。ある先輩議員からは、「有村さんの思想は保守やけど、暮らしぶりは共産党より質実剛健やなあ」とコメントされたものです。やはり「貧すれば鈍する」では、自由な発言権は保てません。

「誠実・堅実・実直であること」を行動基準とし、天を仰いで、神さまと自分の生き方にウソをつかなければ、

大きな選択において、人の道を外れることはない、と確信できることは、自分自身に安定感を築く上で、非常に有り難い指針となっています。

東日本大震災を経験して、特別なハレの日だけでなく、何気ない、何もない日常こそが、実はかけがえのない、幸せの原点そのものだと思えます。体が改めて記憶したのだと思えます。その日常の平穏が再興し、国民一人一人が一秒でも永く享受できるように、議会人としての務めを果たさなくてはならない、と常に自らに言い聞かせています。



11月28日

# 京都府戦没英霊追悼慰霊祭

## 時局講演会

とき 平成二十三年十月二十八日

場所 ホテルグランヴィア京都

去る十一月二十八日、今回で八回目となる京都府戦没英霊追悼慰霊祭並びに時局講演会がホテルグランヴィア京都において開催され、約二〇名が参列した。参列者は祭儀に先立ち国歌を斉唱、そして心づい「海ゆかば」を合唱した。

午後一時、竹内幸平副本部長が斎主をつとめ、京都府戦没英霊追悼慰霊祭が厳かに斎行された。

神籬に降霊した御霊は、朗々と唱える重厚謹厳なる祭詞と巫女の清らかな浦安の舞、そして参列者の英霊に対する感謝の誠に癒され、本都御座に昇霊されたことを望むと共に、今後も祖国の輝ける未来のために散華された英霊への感謝の祈りの継続が、本当の意味での慰霊となるとの決意を新たにした。

午後二時からは、写真家でジャーナリストの宮嶋茂樹氏を講師に迎え、「覚悟なくして再起なし」―不



肖・宮嶋氏の軌跡―と題する研究会が開催された。

先生は東日本大震災が発生した十二時間後には実際に現地向かい、約二ヶ月間にわたって被災地の写真を撮り続け、何万枚もの写真の中から選び抜いた「再起」という本を刊行され、売上金の一部を義援金にあてられるなどの活動をされておられる。

講演では、この写真集に取められた自衛隊をはじめ関係者の懸命な活動と、困難に立ち向かう東北人の「勇気」。すべてを失った虚無感から希望が見出せない中、一歩踏み出す「覚悟」、そして人間本来の生きる力強さがおさめられた「東北人の生

き様」を写した写真を紹介頂いた。先生は、阪神淡路大震災を取材し、もうこれ以上の破壊や悲劇はないと思っただが、東北はその比ではない、規模が違いすぎると感じた。そして映像ではなく実際に被災地を見てほしい。そうすれば今日日本がどんな困難に立ち向かっているか、どういう困難を克服しなければならぬかが実感できるはずだと訴えられた。

また、尖閣や竹島など国家主権をめぐる諸問題に関連し、平成二十三年八月に竹島に近い鬱陵島を視察した際の貴重な体験や、対馬の「行幸啓記念の碑」撮影秘話を紹介された。対馬が韓国資本に買い占められている現状に関して、「日本人がもつと足を運んでほしい。日本人の無関心が一番の敵です」と訴えられた。

韓国政府による国会議員の入国拒否、鬱陵島の港に林立する「日本人入島不許可」などの幟、さらにはサムスン電子が建てた独島博物館前の「対馬島本是我国之地」（対馬はもともと韓国領土）と書かれた碑に象徴されるとおり、我が国の領土を奪つておきながら、それを正当化するために歴史を捏造し、反日教育を続けている現状を紹介頂いた。

また、「独島が（朝鮮人の怒りで）



噴火し、日本列島を津波がのみ込み「ばいばい」という看板に、韓国の外交姿勢の本質と国際社会の厳しい現実が見える、とされ、現政権の安全保障のあり方に警鐘をならされた。

（神尾和俊）

12月8日

## 京都市 神道議員連盟

### 設立総会

とき 平成二十三年十二月八日

場所 京都市役所

去る十二月八日、京都市役所において京都市神道議員連盟「設立総会」が開催され、京都府議会に続き市議会においても総勢二十三名の議員連盟が発足した。

総会では、規約および役員を選任が満場一致で承認され、寺田一博市議会議員が会長に就任された。今後は府議会・市議会の神道議員連盟と連携し政策を推進することとなった。

また、この度の京都市神道議員連盟発足への積極的な取り組みが評価され、六月十三日に開催された神道政治連盟中央委員会において、表彰の栄に浴した。

### 京都市神道議員連盟

会長 寺田一博 議員  
副会長 山本恵一 議員  
幹事長 桜井泰広 議員

12月9日

## 京都府議会神道議員連盟

### 懇談会

とき 平成二十三年十二月九日

場所 リーガロイヤルホテル京都



去る十二月九日、リーガロイヤルホテル京都において京都府議会神道議員連盟懇談会が開催された。

懇談会には多賀久雄会長をはじめ十五名の府議会議員と神道連京京都府本部の林本部長以下役員関係者三十三名が出席した。

懇談会は国歌斉唱の後、林本部長挨拶、多賀会長の挨拶に続き、神道政治連盟中央本部事務局長の湯澤豊氏を講師に迎え「神道政治連盟の活動」と題する講演会が開催された。

講演会では、東日本大震災の復興に対する対応を含めた十一項目の活動方針・活動計画の概略について、それぞれの事案を提示しながらご講演を頂いた。

### 東日本大震災における 神社の被災状況について

東北地方を中心に二都十五県、四八二八社の被災状況と、三月十日に安倍会長以下神道政治連盟国会議員懇談会主催の物故者慰霊祭齋行予定の報告がなされた。

### 国家主権を巡る諸問題への政策

国際戦略フォーラムが作成した東アジアの地図を示し、神社界挙げての啓発活動の実施と永住外国人地方参政権付与についての注視と危険性を訴えられた。

### 皇室の尊厳維持運動

女性宮家の創設に対する神社本庁の基本見解について、東京大学名誉教授の小堀桂一郎先生の見解を紹介し詳細に解説された。

### 教育の正常化と正しい歴史観を 後世に伝える運動

神政連で推薦した自由社と育鵬社の歴史公民の教科書の採択運動と結果についての報告がなされた。

### 靖國神社公式参拝・政教分離

現在係争中の訴訟と、津の地鎮祭訴訟をはじめ政教関係訴訟について解説された。

### 時局に応じて取り組む対策

沈静化しているようにみえる夫婦別氏(姓)制の問題、人権擁護法案など国の根幹を揺るがす法案への注視の重要性について解説された。

### 地方議員連盟の状況

一都二府十四県で十九団体が組織されており、議員連盟の発足が神政連の活動を推進する大きな原動力であり、京都市神道議員連盟の発足を大変評価された。

## 沖縄「京都の塔」慰霊参拝旅行を経て

貴船神社 権祿宜 山田文也



軍皆が先の戦争を通して築いた礎のおかげであることを実感すると共に、感謝を祈念いたしました。

波上宮参拝時、宮司様のお話にありました「集団自決教科書問題」「米軍基地移転問題」等未だに戦争を引き金とした問題が山積みである中、我々はその解決を後押ししていく一方で、英霊達の国家愛・地域愛・家族愛・夫婦愛・兄弟愛等といった誇り高き精神を忘れず、この慰霊祭を通して後世に継承していかなくてはならないと思えました。

去る二月二十七・二十八日神道政治連盟京都府本部沖縄「京都の塔」慰霊参拝旅行に参加いたしました。

初日、林秀俊神政連京都府本部長以下二十九名奉仕・参列のもと、宜野湾市嘉数高台公園内の「京都の塔」にて慰霊祭を齎行いたし、静寂の中花房副本部長齋主の祭詞奏上の内容を耳にして、今回の旅行の大切さが身に浸りました。

二五三〇余柱の京都出身の英霊達に捧げる祭詞より、現代では当たり前のよう感じてもらっている飢餓や貧困等で苦しめない満たされた日々を送れるのは、この英霊達をはじめ当時の日本



於：沖縄県護国神社

## 靖国神社慰霊参拝と米軍施設及び自衛隊視察研修会

平安神宮 権祿宜 高橋秀行



が、敵から実際に攻撃を受けてからでないことと使用出来ないこと聞き、早急なる憲法改正の要ありと感じた。

その後、三笠公園に移動し記念艦「三笠」を見学し、隣接の米軍横須賀基地へ向かった。厳重な入所検査が無事通ると車内の緊張が和み、担当者から基地内の各施設の説明を受けた。そこで巨大な空母「ジョージ・ワシントン」を目の当りにし、米国に守られている日本に複雑な思いを感じたが、現代の国際情勢では仕方がないと自分に言い聞かせて基地を後にした。新横浜駅に移動し新幹線にて京都への帰路について。二日間の実のある研修会に参加者一同、充実した目で解散となった。

平成二十四年三月二十二日、恒例の神道政治連盟京都府本部主催の靖国神社参拝が、林秀俊本部長以下総勢三十七名で行われた。

拜殿での修祓の後、本殿にて慰霊祭が厳粛に執り行われ、国のために尊い命を捧げられた御英霊に対し深く感謝と哀悼の誠を捧げた。

その後、遊就館を見学し、永田町にある自民党本部に移動。谷垣総裁をはじめ有村、西田、山谷各議員との懇談会が行われた。各議員からは民主党によつて引き起こされた社会不安を二蹴する熱い言葉を聞くことができ、安心と期待が高まった。

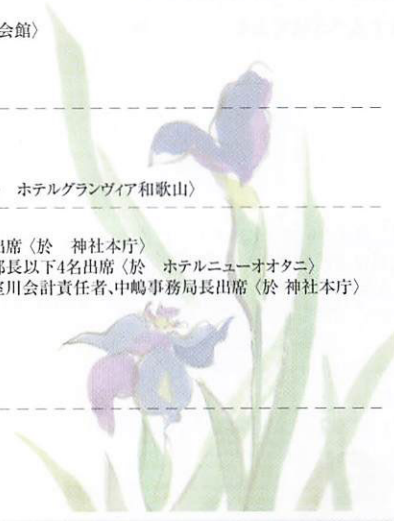
翌日は雨となったがバスにて陸上自衛隊横須賀基地に向かい、そこで護衛艦「やまゆき」に搭乗し各設備の説明を受けた。強力なミサイルや魚雷、機関砲などを間近で見ることが出来た



あしあと

事務局からの活動報告(平成二十三年十二月〜平成二十四年七月)

- 12月 師走**
- 平成23年  
 12月2日: ●神道政治連盟大阪府本部設立40周年記念式典 林本部長・中嶋事務局長出席(於 大阪天満宮)  
 12月8日: ●京都府神道議員連盟設立総会 林本部長・梶幹事長・中嶋事務局長出席(於 京都市役所)  
 12月9日: ●京都府議会神道議員連盟懇談会50名出席(於 リーガロイヤルホテル京都)  
 12月15日: ●関係団体代表者懇話会 林本部長出席(於 京都ガーデンパレス)  
 12月19日: ●京都府本部役員会 林本部長以下関係者19名(於 京都プライトホテル)  
 12月23日: ●天長節奉祝日本会議京都式典120名(於 京都府神社会館)
- 平成24年  
 1月12日: ●自由民主党京都府連合会関係団体会議 中嶋事務局長(於 京都府連合会事務所)  
 1月19日: ●京都府神社庁新年神職総会関係団体助成金交付式 林本部長出席(於 京都府神社会館)  
 1月21日: ●神道政治連盟兵庫本部時局講演会 林本部長(於 舞子ビラ神戸)  
 1月22日: ●門川大作候補出陣式 中嶋事務局長(於 門川大作選挙事務所)  
 ♪: ●渡辺邦子京都府議会議員を囲む会 林本部長(於 ウェスティン都ホテル)  
 ♪: ●寺田一博京都市議会議員を囲む会 梶幹事長・宇佐美委員(於 京都全日空ホテル)  
 1月25日: ●神道政治連盟役員会 林本部長(於 神社本庁)  
 1月29日: ●坪内正一氏叙勲祝賀会 梶幹事長(於 ホテルグランヴィア京都)
- 2月 如月**
- 2月4日: ●佐藤正久参議院議員 新春の集い(於 グランドプリンスホテル京都)  
 2月6日: ●神道政治連盟大阪府本部設立40周年記念時局講演会 林本部長以下3名出席(於 大阪市中央公会堂)  
 2月9日: ●神道政治連盟滋賀県本部時局講演会 中嶋事務局長出席(於 栗東芸術文化会館)  
 2月11日: ●建国記念の日奉祝京都式典 関係者出席(於 京都府神社会館)  
 2月18日: ●京都府神社庁祈年祭 林本部長参列(於 京都府神社会館神殿)  
 2月20日〜21日迄: ●お伊勢さん初まいり 林本部長出席(於 神宮)  
 2月22日: ●京都府神道青年会創立60周年記念式典 林本部長出席(於 リーガロイヤルホテル京都)  
 2月23日: ●第10回神道政治連盟時局対策研修会 田中副幹事長(於 自由民主党本部)  
 2月27日〜28日迄: ●神縄京都の塔慰霊参拝団結成29名(於 神縄県)
- 3月 弥生**
- 3月1日: ●関係団体代表者懇話会並び交通慰霊祭検討会議 林本部長出席(於 京都府神社会館)  
 3月10日: ●神道政治連盟国会議議員懇談会主催東日本大震災物故者慰霊祭 林本部長・中嶋事務局長参列(於 福島県丸太水産跡地)  
 3月22日〜23日迄: ●靖國神社慰霊参拝団 本部長以下31名出席(於 靖國神社並び横須賀方面)  
 3月23日: ●植田喜裕京都府議会議員総会 林本部長(於 京都全日空ホテル)  
 3月24日: ●西田昌司京都政経パーティー 5名出席(於 ホテルグランヴィア京都)  
 3月29日: ●京都府神社庁65周年京都府神社総代会55周年記念大会 林本部長出席(於 ホテルグランヴィア京都)
- 4月 卯月**
- 4月17日: ●京都府神社庁例祭 林本部長(於 京都府神社会館)  
 ♪: ●神社庁並び総代会関係者合同会議 林本部長(於 京都府神社会館)  
 4月19日: ●神道政治連盟表彰委員会 林本部長(於 神社本庁)  
 ♪: ●神道政治連盟選挙対策委員会 林本部長(於 神社本庁)  
 4月20日: ●神道政治連盟役員会 林本部長(於 神社本庁)
- 5月 皀月**
- 5月6日: ●京都府神社洛東支部総代会総会 林本部長出席(於 魚善)  
 5月10日: ●京都府本部役員会 本部長以下12名(於 京都府神社会館)  
 5月18日: ●京都府本部三役会 林本部長以下10名出席(於 糸仙)  
 5月29日: ●第13回神政連近畿地区協議会 林本部長・中嶋事務局長出席(於 ホテルグランヴィア和歌山)
- 6月 水無月**
- 6月12日: ●神道政治連盟役員会 林本部長出席(於 神社本庁)  
 ♪: ●神道政治連盟本部長事務局長連絡会 林本部長・中嶋事務局長出席(於 神社本庁)  
 ♪: ●神道政治連盟・神道政治連盟国会議議員懇談会合同祝賀会 林本部長以下4名出席(於 ホテルニューオオタニ)  
 6月13日: ●神道政治連盟中央委員会 林本部長、花房副本部長、梶幹事長、室川会計責任者、中嶋事務局長出席(於 神社本庁)  
 6月15日: ●京都府本部綱紀財務合同委員会(於 京都府神社会館)  
 ♪: ●京都府本部役員会(於 京都府神社会館)  
 6月16日: ●船井支部神社総代会総会 林本部長出席(於 永室の郷)  
 6月29日: ●代議員会(於 京都府神社会館)  
 ♪: ●参議院議員西田昌司国政報告会(於 シルクホール)
- 7月 文月**
- 7月9日: ●第26回会員大会開催(於 京都センチュリーホテル)  
 ♪: ●「清政」第52号発行



御製を拝して

津波来し  
 時の岸辺は如何なりしと  
 見下ろす海は  
 青く静まる

大震災が、東日本に甚大な災害をもたらしてから、早一年余りが過ぎました。この間陛下は、不自由な避難生活の様子や、被災地の復興状況を憂慮され、被災地に幾度も足をお運びになり、困窮する国民を見舞って来られました。

冒頭の御製は、昨年五月六日、岩手県に行幸啓された折、ヘリコプターで釜石市から宮古市へ至る沿岸地域の被災状況を御視察になったときの印象を、本年の歌会始に於いてお詠みになったものです。

神々の治める自然の世界では、時として本来の働きである荒魂の神威を発せられます。上代より我々日本人は、荒魂の怒りが鎮まるよう、国家の祭祀を以て祈り神の怒りを鎮めてきました。今も昔も国民の安穩を真摯に祈る陛下の大御心に感謝し、私たち国民は、犠牲となった方々の御霊の平安を祈りつつ、荒ぶる神の怒りは何だったのか、考えなければなりません。

## 編集室だより

障害者福祉などに心血を注がれた、三笠宮寛仁親王殿下には去る6月6日薨去されました。謹んで哀悼の誠を捧げます。

さて、神宮におかれては去る3月4日・6日には立柱祭が、26日・28日には上棟祭が執り行われ、翌年の第62回神宮式年遷宮に向けた機運が愈高まっている。

古来より日本人とともにあり、千有余年変わらない祭と姿。比較することすら烏譚がましい先の読めない国民不在の政治(まつり)。

今回の『清政』がお手元に届く頃には新たな局面を迎えているであろう。しかし、だからこそ皇室を戴く世界に誇るべき国柄と天皇陛下の大御心を体して行動すべき秋である。(神)

●ご意見ご感想をお持ちしています。投稿はご氏名ご連絡先を明記の上、FAXか電子メールでお願いします。

宛先/神道政治連盟京都府本部「清政」編集室

ファックス/075-863-6664  
電子メール/  
info@kyoto-jinjacho.or.jp



Shinto Association of Spiritual Leadership  
このロゴマークは、わたくしたちの会名である「神道政治連盟」の英訳の頭文字SAS(Shinto Association of Spiritual Leadership)と日本古来の装飾品である勾玉(マガタマ)をデザイン化したものです。

## 清政 第52号

発行日 平成24年7月9日(月)  
発行所 神道政治連盟京都府本部  
〒616-0022京都市西京区  
嵐山朝月町68-8  
電話 075-863-6677

神政連ホームページをぜひご覧ください。  
<http://www.sinseiren.org>

編集協力 (株)ハルプロモーション

# せいせい書評

今読んでおきたいとっておきの書籍



陰陽五行と日本の民族  
著者:吉野裕子 人文書院(¥2,520円)

「君子は本を務む。本立って道生ず」(『論語』学而篇)と言う。根が張っていないと幹が育たず、幹がしつかりしていないと枝葉が茂らない。これはまさに自然の摂理である。日本の古代には、遣隋使や遣唐使などによって陰陽五行説に基づく最新の文化が導入さ

れた。律令制では官庁として陰陽寮が設けられ、生活に欠かせない暦の編纂などが行われた。また官僚を育成する大学寮では四書五経が教授されるなどして、導入された文化が日本の民俗にも深く浸透して行った。我々が今に伝わる伝統文化を理解する上で、その基層をなしている陰陽五行説や易学を識ることは不可欠である。人文書院発行の、吉野裕子女士の『陰陽五行と日本の民俗』など一連の著作は、日本人の日々の生活の中で今も息づいている様々な民俗を陰陽五行や易の観点から解りやすく解説しており、ぜひ一読をお勧めしたい好著である。

神道政治連盟京都府本部  
参与 赤木尊文

## 創立四十周年記念 海外戦没者慰霊顕彰事業のご案内

と き 平成二十五年  
二月十九日(火)〜二十一日(金)

場 所 サイパン島  
マリテナ諸島

天皇皇后両陛下におかせられましたは、終戦五十年に当たり先の大戦で特に大きな災禍を受けた東京、広島、長崎、沖縄の慰霊の施設を巡拝され、大東亜戦争終戦六十周年にあたる平成十七年六月二十七日から翌二十八日にかけて、戦没者を慰霊するためサイパン島に行程啓遊はされました。

当本部といたしましても陛下の大御心を体して、当本部創立四十周年を機に「海外英霊顕彰・戦没者慰霊事業」を実施する運びとなりました。

現在、慰霊祭齋行に向け準備を進めている状況です。詳細が決まり次第ご案内申し上げますので、その節には是非ご参加下さいませようご案内申し上げます。



### お詫びと訂正

前号表紙に掲載し、また七頁で解説させて頂きました御製に誤りがありました。正しくは下記の通りです。「ひちりきの 音と合はせて 歌ふ声 しじまのなかに 低くたゆたふ」ここに訂正しお詫び申し上げます。